

サステナブルな社会の実現に向けて

三菱商事のビジネスモデル

三菱商事は、国内・海外約80カ国に200超の拠点を持つグローバルな総合事業会社です。幅広い産業を事業領域とし、500社を超える連結対象会社と共に、世界中のお客様やパートナーとビジネスを展開しています。

三菱商事がビジネスを行う際には、お客様の潜在的なニーズを発掘し、より付加価値の高い製品やサービスを最も効率的にお客様へ届けることにより、社会の持続的発展に貢献していくことを重視しています。そのために、ビジネスプロセス全体を見渡して、三菱商事が持つ機能や専門能力を使ってどこに価値を付加できるかを見極める必要があります。開発・生産・加工・流通・サービスなどの各段階で、商品の付加価値を高めながら最終的にお客様に届けるまでのプロセスの連鎖をバリューチェーンと言いますが、例えば、食料ビジネスの場合を考えてみると、食料が生産され、需要家（消費者）に届けられるまでには、「生産」→「加工（原料・食品）」→「流通販売」→「小売」といったさまざまな価値プロセスが存在し

ています。三菱商事は、これら各プロセスで機能を提供すると同時に、プロセス全体の効率を最大限に高める役割を担っています。

バリューチェーンにおいて個別の機能や特定の事業・分野ばかりに関心が向いてしまうと、得てして「部分最適」に走りがちになりますが、三菱商事では、「部分最適」を図るのみならず、「全体最適」を実現するための調整や管理を行うほか、三菱商事単独では弱い部分を補うために、他社との提携や協業を図るなど、オーガナイザーとしてリーダーシップも発揮しています。

かつては、調達や販売といった取引機能の提供が中心でしたが、現在では、取引と事業投資を組み合わせることで自らの機能を高度化・複合化し、最上流の原材料分野から最下流の小売分野までの商流全体を最適化する「バリューチェーン経営」の実践が三菱商事の役割となっています。

例)食料ビジネスのバリューチェーン

